

地域のボランティアと「教育に関する3つの達成目標」で、

# 伸ばそう、子どもたちの「生きる力」



今、県内すべての公立小中学校で取り組んでいる「教育に関する3つの達成目標」。市内の小中学校は、推進地域として積極的に取り組んできました。「教育に関する3つの達成目標」は、学校と家庭が連携して、知（学力）・徳（規律ある態度）・体（体力）の3つの分野で、「生きる力」をバランスよくはぐくむものです。

この企画記事では、「教育に関する3つの達成目標」の成果を高めるために、地域で活躍しているボランティアを紹介します。

問い合わせ：教育研究所・TEL245-2920



「教育に関する3つの達成目標」を構成する知・徳・体。学校と家庭での取り組みで、これらの基礎をはぐくみます。地域のボランティアの協力が加わることで、子どもたちの「生きる力」は、より充実したものになります。



「教育に関する3つの達成目標」は、子どもたちに身に付けさせたい基礎的な内容を具体的に示したものです。昨年度の市内の実績では、ほとんどの項目で、目標を達成することができました。これからも、各学校の実態に応じて学校と家庭が連携し、継続的に取り組んでいきます。

「教育に関する3つの達成目標」の目的は、子どもたちの「生きる力」をはぐくむこと。「生きる力」とは、多様化する社会に対応するための資質や能力のことです。子どもたちの「生きる力」をはぐくむためには、学校と家庭だけでなく、地域も連携して活動することが大切です。

学校・家庭・地域が一体となり活動することで、子どもたちにより豊かな体験と交流の場が生まれます。一体となつて活動するためには、ボランティアの力が不可欠です。子どもたちに何が必要か、ボランティアと学校が十分に話し合い、一体となつた活動を継続することで、「生きる力」をバランスよくはぐくむことができます。



自分の選んだ絵本を、みんなの前で情感豊かに読んでいました



左から大竹敬子さん・江回しのぶさん・代表の村上美貴子さん・荒井智恵さん・唐澤敦子さん

## 東中学校の「文化体験学習会」で、読み聞かせの講座を行った「おはなしの森」の皆さん

昨年の2学期から、南古谷小学校で読み聞かせを始めました。小学生の保護者と地域のボランティアを合わせて30人で、月2回活動しています。東中学校の先生から「中学生に、読み聞かせのしかたを教えてほしい」と依頼を受け、どうしていいかわからず不安でした。絵本の世界に少しでも親しんでもらえればと思い、メンバーが所有している絵本の中から300冊を選んで持っていきました。

実際にやってみると、子どもたちが素直で熱心なのに驚きました。絵本がお互いの距離を縮めてくれたのかもしれない。中には「自分もボランティアをやりたい」という子も……。子どもたちといろいろな話ができただけうれしかったですね。私たちも楽しみつつ、できるだけ長く活動を続けていきたいです。

七月十四日、東中学校で行われた「文化体験学習会」。平成九年から毎年開催しています。ことは地域のボランティア八十一人によって、十八の講座が開設されました。さまざまな技能を持つボランティアの皆さんから、子どもたちは知ることの楽しさを学んだだけでなく、地域の皆さんとの交流も深めることができました。



より美しく見せるために

「どうしてだろう」。  
疑問が生まれるから  
知る楽しさがある



新しいことを知りたい、やってみよう。そういった気持ちを持ち続けることは、大人のみならず子どもたちにとっても重要なことです。子どもたちは、新しいものを知る喜びや、新しいことに取り組む楽しさを体験することが大切です。

学校は、何よりもまず勉強する場所です。子どもたちは学校や家庭で、社会に出ていくときに必要となる知識や学び方などを身に付けます。しかし、学校や家庭だけではすべてを学ぶことはできません。地域のボランティアの皆さんにより、子どもたちは学校や家庭では学べない新しい知識に出会うことができます。同時に生まれる知的好奇心は、子どもたちの将来の目標や夢の実現への糧となることでしょう。



笑顔が絶えなかった、どじょうすくい